

# 皮膚科この1年

皮膚科医長 伊藤文彦

## 診療体制

平成4年(1992年)に皮膚科が常勤になり、高橋英俊(1992年10月～1993年9月)、小池且弥(1993年10月～1995年9月)、加藤直樹(1995年10月～1996年9月)、真鍋公(1996年10月から1999年3月)が医長として、柏木孝之(1997年4月～1998年3月)、山内利浩(1998年4月～1999年3月)が医師としてお世話になりました。

平成11年の3月末に医師交代があり、前任の真鍋公医長は旭川医大皮膚科に戻り、山内利浩医師は北見赤十字病院皮膚科に転勤しました。4月からは伊藤文彦と橋本任が就任しています。

## 外来診療

伊藤・橋本2名の常勤医と3名の看護婦が外来診療にあたりました。また、月1回旭川医科大学皮膚科から飯塚一教授が診療応援に来ており、治療に難渋する症例にアドバイスをいただいていると同時に、我々が怠けていないかどうかをチェックしていきます。

1日に平均約130名の患者を診察する忙しい職場ですが、私はできるかぎり質にこだわる診療を心がけていきたいと考えております。受診された患者がひとつでも良いから、受診して良かったと思える様な診療・情報を提供できるように努力しています。確実に情報提供しようとする、どうしても時間がかかるのが欠点ですが、この積み重ねで患者数は結果的に増えればよいと思っています。

## 病棟診療

4階西病棟で循環器・呼吸器内科、耳鼻咽喉科との混合病棟になり、皮膚科の病床数は5から6に増えました。私は外来で治療できるものは外来通院で治療すべきと考えているため、病床の稼働率は昨年度に比べて半減してしまいました。この1年の入院は42症例で、手術患者や熱傷・帯状疱疹・水疱性疾患で処置が自分ではできない方・薬疹で重症化が心配される方などです。皮膚科の空いた分は循環器・呼吸器内科に利用していただき病棟としてはそれなりの稼働率だと思います。

## 手術

外来通院で行う小手術がほとんどですが、出血や万が一の対応を考え毎週木曜日に手術室を利用させていただき、1日3件(月12件)程度の手術を行い、1年間では142例の手術を行いました。

## 最後に

当院は1997年10月から皮膚科専門医研修施設に認定されているため、診療(患者サービス)と同時に若手医師の教育機関としての役目もっています。皮膚科単独でできることはたかだかしたものであり、我々はできることを確実に行うことを目標に頑張っていこうと考えております。今後も他科の先生方などにはご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、何卒御協力の程お願いいたします。